

議題：第15号

令和6年度 甲府市武田氏館跡歴史館の臨時開館について

1 臨時開館日

昨年度から指定管理者制度導入により運営主体者が民間事業者へと移行しているが、指定管理者から令和6年6月11日付で次の定休日の臨時開館の申請があった。

申請のあった臨時開館日は、夏休み期間で家族での来館者も多く、毎年小学生の夏休みの研究などで訪れる方も多し。また、夏季ではお盆期間が最多の来館者数となることから、来訪者の利便性も考慮し、臨時開館とする。

臨時開館日：令和6年7月23日（火）
7月30日（火）
8月 6日（火）
8月13日（火）
8月20日（火）
8月27日（火）
合計 6日間

2 甲府市武田氏館跡歴史館条例

第6条 歴史館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）

報告：第9号

6月13日（木）01 木内直子 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	子育て支援について	市長	1
1-2	学校給食費の無償化について	教育部長	2
1-3 1-4	放課後児童クラブについて	子ども未来部長	3
1-5	子育て世帯訪問支援事業について	子ども未来部長	4

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	市民の負担軽減策について	企画部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2 3-3	農業政策について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2 4-3	訪問介護の報酬改定について	福祉部長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食費の無償化について

- (1) 質問者 木内 直子 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

山梨県内の27市町村のうち17市町村で学校給食費無償化を実施しています。期限付きの実施の3市を含めると、学校給食費無償化の市町村は20市町村74%にのぼります。「子育てするなら甲府市で」と胸を張ってアピールできるようにするためにも、小中学校の給食費無償化実施は避けて通れないのではないのでしょうか。

子育て世帯への経済的支援として、甲府市でも小中学校の給食費を無償化することを求めます。市長の見解を求めます。

(6) 答弁内容

・本市の学校給食費につきましては、学校給食法により、施設・設備に要する経費や人件費等の運営費は本市が負担しており、保護者の皆様には食材費のみを御負担いただいているところであります。

・こうした中、本市では、就学援助制度により学校給食費や学用品費などの支援を行っており、また、令和4年度からは、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分を負担しているところであります。

・県内外において、学校給食費の無償化を実施している市町村があることは承知しておりますが、今後におきましても、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努める中で、現行制度を維持しながら、国の「こども未来戦略方針」における学校給食費の無償化に向けた具体的方策の検討や、山梨県の「人口減少危機対策パッケージ」における給食費無償化を実施する市町村への支援検討について、その動向を注視してまいります。

報告：第9号

6月13日（木）02 山田 厚 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	地方自治法の一部改正について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2 2-3	市立図書館について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2 3-3	公民館図書室について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	「裸眼視力」、「難聴」、「むし歯」について	教育部長	1
4-2	小中学校における「暴力行為」「いじめ」「不登校」の現状等について	教育長	2
4-3	学校給食費未納者数と就学援助制度について	教育部長	3
4-4	学校図書館における図書標準達成率について	教育部長	4

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	岡島百貨店跡地の建築物への公費支出の今後について	まちづくり部長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

市立図書館について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 図書館
- (5) 質問概要

甲府市の図書館運営は疎かにされてはいけません。

今年度の市立図書館の正規・非正規職員のそれぞれの職員数と、そのうち図書館司書の資格をもつ職員数について伺います。

図書館運営の現状認識として市民1人あたりの年間貸出数、蔵書冊数、年間資料費を伺いますが、県内でも極めて少ない状態が推移しており、その改善についても質問します。

移動図書館「なでしこ号」につきましては、県内唯一の移動図書館車で地域でも評価されていますが、車齢10数年近くであり、その更新計画はどうなっているのかお聞きします。

(6) 答弁内容

・市立図書館の今年度の職員体制は、正規職員6名及び図書館司書29名を含む会計年度任用職員32名の合計38名となっており、令和4年度の市民一人あたりの年間貸出数は2.1冊、蔵書冊数は2.2冊、年間資料費は140円となっております。

・市立図書館が市民文化の向上に寄与するためには、貸出数の増加が必要でありますことから、利用者のニーズを把握する中で、必要な図書や資料等を整備し、蔵書の充実を図るとともに、インターネットによる本の予約方法の周知や、SNSを活用した新書情報の紹介、子どもたちへの本の読み聞かせなど、各種イベントの充実を図り、より一層魅力ある図書館づくりを進めてまいります。

・移動図書館であるなでしこ号につきましては、今後の事業の円滑な継続を見据える中で、適切な維持管理に努めるとともに、リニューアルの検討を行ってまいります。

・今後におきましても、次世代を担う子どもたちをはじめとする全ての市民の豊かな読書活動の拠点として、市民ニーズに即した図書館活動を推進してまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

公民館図書室について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 図書館
- (5) 質問概要

「甲府市は、図書館の地域分館がまったくない。せめて今ある公民館図書室を分館として扱いその充実を」と以前からも言われてきました。分館の位置づけもありませんが、その図書貸出数をそれぞれお聞きします。図書室への充実には、図書館司書の役割がやはり大きいものです。公民館図書室への派遣状況を伺います。

また、公民館図書室と市立図書館をはじめとするネットワーク接続は以前からの課題ですが、その現状を質問します。司書派遣やネットワークの接続ができている公民館図書室とできていない図書室の違いは、図書の貸出数の違いとなって現れます。司書の派遣とネットワーク接続は当然だと思われそうですが、いかがですか。

(6) 答弁内容

・公民館図書室につきましては、現在8か所の公民館に設置されており、昨年度における公民館図書室からの図書貸出数は、北公民館6,701冊、西公民館2,782冊、南公民館2,540冊、中道公民館2,128冊、遊亀公民館1,056冊、北東公民館829冊、東公民館578冊、南西公民館386冊となっております。

・公民館図書室への図書館司書の派遣状況につきましては、市立図書館とネットワーク接続している北公民館と西公民館へは2週間に一度、南公民館と中道公民館へは必要に応じて派遣し、蔵書の整理や利用者からの相談対応など、図書室の利便性の向上に取り組んでおります。

・ネットワーク接続していない公民館においては、毎年2館ずつ年に3回程度派遣し、市立図書館からの蔵書の移管や廃棄を行うとともに、利用者のニーズにあった書架づくりを行っているところであります。

・今後におきましては、図書館司書の派遣の拡大や市立図書館とのネットワーク接続につきましては、図書貸出数等の増加に繋がるものと考えられますことから、利用者のニーズなどを調査研究してまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「裸眼視力」、「難聴」、「むし歯」について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

子どもさんの医療などは子育て医療費助成制度があり、特に「むし歯の処置」などは、完治すべきが当然ですが、生活に忙殺されている家庭は気がつかないこともあるかと思います。その対応もお聞きします。

(6) 答弁内容

- ・本市におきましては、保健だよりや身体測定などを通して児童生徒が正しい知識を得る中で、自身の健康について考え、行動していけるよう健康教育を進めるとともに、学校保健安全法に基づき、各学校において健康診断を実施しているところであります。
- ・こうした中、市立小中学校の児童生徒の視力検査や聴力検査、歯科検診の結果について、平成26年度と令和5年度を比較した場合、裸眼視力1.0未満の割合は、小学校では、ともに約37%と同水準で、中学校においては約38%から約42%へと増加しております。
- ・難聴の割合は、小学校が0.55%から0.21%、中学校が0.31%から0.12%で、むし歯の未処置の割合は、小学校が約25%から約17%、中学校が約19%から約11%と、ともに減少しております。
- ・こうした健康診断の結果により、医療機関の受診が必要な場合は、各学校から保護者に対し受診勧奨の通知を行うとともに、その後の経過を把握する中で、個々の状況に応じて対応しているところであります。
- ・今後におきましても、児童生徒が健康で楽しい学校生活が送れるよう日ごろから健康状態を把握する中で、適切な指導や受診勧奨に努めてまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校における「暴力行為」「いじめ」「不登校」の現状等について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

全国的に小中学校における「暴力」「いじめ」「不登校」などが多発していますが、その現状と対応策についてお聞きします。

(6) 答弁内容

・令和4年度の全国小中学校における暴力行為の発生件数は9万件を超えており、本県においては255件となっております。各学校におきましては、「暴力は絶対に許されない」という毅然とした指導や「思い遣る心」の育成を中核とした道徳教育の充実に努めるとともに、ストレスの増大や感情をおさえられず、考えや気持ちを言葉で伝える力が低下していることも暴力行為の原因として考えられることから、スクールカウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーとも連携しながら、児童生徒の抱える背景も考慮したきめ細かな対応に努めているところであります。

・全国的にいじめの認知件数や不登校児童生徒数は増加傾向にあり、令和4年度の市内小中学校におけるいじめの認知件数は1,463件、不登校児童生徒数は468名で、ともに前年度より増加しており、本市においても喫緊の課題となっていることから、いじめや不登校等に係る児童生徒や保護者からの相談を一元的に受け、専門の担当者が関係機関と連携して一体的で総合的な支援につなげる「甲府市児童生徒支援センター すてっぷ」を昨年4月に開設するとともに、自分の教室に入りづらい生徒が落ち着いた空間の中で学習や活動ができる場である「ほっとルーム」を本年度3校増設し、5校にしたところであります。さらに、今年度からは、児童生徒がその日の気持ちを端末アプリに入力することにより、教員が心身の状況を確認するとともに、心配事がある児童生徒を把握し、必要な支援につなげているところであります。

・今後におきましても、児童生徒の状況を適切に把握することをおして、問題行動や不登校の未然防止、早期発見・早期対応、さらには、不登校児童生徒への適切な支援に鋭意努めてまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食費未納者数と就学援助制度について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

子どもの貧困と言われてきましたが、それを義務教育段階で補償するのが就学援助制度の充実です。生活困窮していると認められる家庭で、学校給食費・入学準備費・校外活動費・学用品費・医療費・修学旅行費などの援助です。学校給食費無償化を目指すのですが、まずは、就学援助の状況と学校給食費未納者数をお聞きます。

その認定率とともに、2010年度から追加された新3項目、クラブ活動費・生徒会費・PTA会費の実施はどうされていますか。あわせてお聞きます。

(6) 答弁内容

・本年5月末時点における本市の学校給食費未納者数は、小学校185人、中学校132人であり、未納者に対しては電話催告や個別訪問を行う中で、家庭の状況を詳しく聞き取り、その状況に応じて就学援助制度の申請を促すなど、多様化する家庭環境に対応した丁寧な滞納整理に努めております。

・本市の就学援助制度におきましては、令和5年度より収入審査方法を変更し、制度の対象者を拡大するとともに、保護者の申請書類の簡素化や制度に関する周知について改善を行ったところであり、その認定率は、令和4年度の10.01%から、令和5年度は11.45%と、1.44ポイント増加したところであります。

・本制度における新三項目（クラブ活動費、生徒会費、PTA会費）の追加につきましては、真に支援を必要とする世帯に対し公平かつ継続的に援助を行うことが重要でありますことから、現在のところ他都市の動向を注視しているところであります。

・今後におきましても、未来を担う子どもたちが、笑顔溢れる楽しい学校生活が送れるよう、個々の状況に寄り添った対応や支援を行ってまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校図書館における図書標準達成率について

- (1) 質問者 山田 厚 議員（市民クラブ）
- (2) 質問日 6月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

学校図書館図書標準とは、学校図書館に整備すべき図書資料の目標値を示したものです。甲府市の学校図書館図書標準達成率をお聞きします。近年まで山城小学校・玉諸小学校・城南中学校・上条中学校など未達成でしたが、今でも未達成の学校があればお聞きします。

(6) 答弁内容

- ・本市小中学校の学校図書館における本年4月1日時点の図書標準の達成率は、小学校については123%で、全25校のうち22校が達成しており、相川小学校、大里小学校、羽黒小学校の3校が未達成となっております。
- ・中学校については113%で、全11校のうち10校が達成しており、東中学校1校が未達成となっているところであり、未達成の学校については、今年度、図書等の購入により達成する見込みとなっております。
- ・今後におきましても、教育環境の向上のため、学校図書館における蔵書の充実に努めてまいります。

報告：第9号

6月14日（金）05 兵道頭司 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	まちなかの回遊性と魅力の向上について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	安全な通学の確保について	教育部長	1
2-3 2-4	小中学校の防火シャッターの安全確保について	教育部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2	カスタマーハラスメント対策について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2	給食残渣の状況と対応について	教育部長	1
4-3	給食残渣などの有効活用について	環境部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1 5-2 5-3	大規模災害時におけるトイレの配備等について	危機管理監	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

安全な通学の確保について

- (1) 質問者 兵道 顕司 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

子どもたちの安全安心の確保、特に通学時の安全安心の確保のうえで、見守り活動が益々重要となると考えますとなると考えますが、その一層の充実のため、どのように取り組んでいくのか、御所見をお伺いします。

また、こうしたソフト面の取組とともに、ハード面すなわち通学路の危険個所の改善も重要です。毎年通学路の安全点検を実施していると伺っておりますが、主な成果について、あわせてお伺いします。

(6) 答弁内容

・登下校時の安全対策として見守り活動や通学路点検を行うなど、子どもたちの安全・安心の確保に取り組んでおり、見守り活動については、毎年、警察の協力を得ながら、防犯対策や交通安全対策に関するスクールガード講習会を開催しているところであり、一方でスクールガードの高齢化などにより、担い手不足が懸念されていることから、今後は学校運営協議会と協議・連携する中でその人材確保に努めてまいります。

・通学路点検については、甲府市通学路交通安全プログラムに基づき、警察や国、県、市の道路管理者、学校、教育委員会等の関係機関で構成する甲府市通学路安全推進連絡会議を設置し、定期的又は随時に合同点検を実施する中で必要な対策を講じてきたところであり、本連絡会議を設置した平成26年度からこれまでに歩道の段差解消や歩行者用信号機、ガードレールの設置、グリーンベルトの新設・再塗装、注意喚起を促す路面表示等を計画的に実施し、対応が必要な815箇所に対し、約8割の656箇所の改善を行ってきたところであり、残りの箇所についても年次的に対応することとしております。

・今後におきましても、見守り活動や通学路点検を保護者や地域の皆様、関係機関と連携して行い、子どもたちが安全に安心して学校へ通うことができるよう、鋭意取り組んでまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校の防火シャッターの安全確保について

- (1) 質問者 兵道 顕司 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

防火シャッターや防火扉などの消防系の設備により万が一の火災発生の際は迅速な対応が可能となり、被害防止の効果が大きいと期待されると思いますが、平常時において何らかの原因で誤って作動してしまうこともまれにですが、事例としてあるようです。

本市の学校施設の防火シャッターの状況及び安全装置の装着の状況についてお伺いするとともに、その点検状況について、あわせてお伺いします。

(6) 答弁内容

・本市小中学校における防火シャッターにつきましては、小学校は全25校のうち8校に、中学校は全11校のうち5校に設置されており、このうち平成17年に建築基準法が改正された後に防火シャッターが設置された小学校8校と中学校1校については、感知式安全装置が装備されております。

・建築基準法が改正される前に安全装置が装備されていない防火シャッターが設置された中学校4校については、平成19年度に防火シャッターの下部を可動式に変える改修を実施し、これにより全ての学校に安全装置を装備したところであります。

・防火シャッターの点検につきましては、消防法等の規定に基づき、現在、年に2回実施し、消防署へ報告しており、前期では安全装置や電源装置等の点検を、後期では煙感知器の感度検査等を含めた総合点検を行い、必要な修繕を行っているところであります。

・今後におきましても、防火シャッターの誤作動による事故などを防ぎ、子どもたちの学校における安全確保に努めてまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

給食残渣の状況と対応について

- (1) 質問者 兵道 顕司 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

食品ロス削減の観点から、給食残渣を生じさせないための取組についてまず伺うとともに、発生した給食残渣についてその処分をどのように行っているかお伺いします。

また、今後、SDGsの観点から、発電等への有効活用も検討すべきと考えますが、御所見を伺います。

(6) 答弁内容

・学校給食は、食育としての役割も果たしており、とりわけ食品ロス削減は、食べ物の大切さを理解する上で、大変重要な取組となっております。

・こうした中、山梨県の食育推進一校一実践の事業において食品ロス削減を選択した小中学校では、食べ残しの量が少ないクラスの表彰や食品ロス削減のポスターの作成、校内放送での食べ残しを減らす呼び掛けなど、様々な取組を行っているところであります。

・教育委員会におきましては、日々の食べ残しの量を計量するとともに、その結果を各小中学校へフィードバックし、各校では食べ残しを減らすよう、給食時に教員による声掛けを行っております。さらに、小学校におきましては、平成29年度より食品ロス削減のモデル校を毎年2校選定し、食べ残しの量や傾向を調査する中での、味付けや食材の切り方などの調理の工夫や、食品ロスを取り上げた授業の実施、児童が自ら育てた野菜の使用や食品ロス削減啓発動画の作成などを行い、その効果があつた取組や結果を他の小学校へ周知しているところであります。

・各校で生じた食べ残しにつきましては、委託業者が回収したうえで、甲府・峡東クリーンセンターに搬入し、処分しているところであります。

・今後におきましても、食品ロス削減に関する様々な取組を行うことにより、子どもたちの自然への恩恵や食に関わる人々への感謝の気持ちの育みに繋げてまいります。

報告：第9号

6月14日（金）09 中 瀧 寿 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	防災拠点の新設及び活用について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	消防団施設（詰所）について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	学校体育館への空調設備の導入について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	2024年物流配送問題の対策について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	入浴施設におけるタトゥーのある外国人旅行者への対応について	産業部長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校体育館への空調設備の導入について

- (1) 質問者 中 畠 寿 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 6月14日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

この夏場の期間に屋外での運動を控える対応では、児童、生徒たちの運動能力低下が心配されます。もっと自由に動ける環境を提供するのが私たちの務めと考えます。

そこで、学校体育館に空調を設置し、環境整備を検討してはどうでしょうか。国や県の補助金を含め、本市の見解をお伺いします。

(6) 答弁内容

・近年、小中学校においても熱中症対策は必須となっており、体育の授業や屋外での活動の前には熱中症チェッカーで暑さ指数を測定したうえで、運動強度の調節や適宜の休憩、小まめな水分補給、気温が低い時間帯での実施といった工夫を凝らすなど、様々な対策を講じながら、運動機会の確保に努めているところであります。

・こうした中、地球温暖化による気候変動の影響から、気温が上昇するとともに、真夏日の期間が長期化するなど、今後も厳しい暑さが懸念され、熱中症対策のフェーズが変わりつつある中、学校体育館への空調設備の導入につきましては、平時における児童生徒の熱中症対策に加え、災害時における避難所としての利用も想定されることから、補助金等の活用も検討する中で、長期的な視点を踏まえ、研究を深めてまいります。

報告：第9号

6月17日（月）10 鈴木 篤 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	市立中学校の女子生徒の制服におけるスラックスの着用について	教育長	1
1-2	市立中学校におけるポロシャツの着用について	教育長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	職員の名札の表記について	総務部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	災害弱者が移動するための支援策について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	重度心身障害者タクシー利用料金助成制度の拡大について	市長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

市立中学校の女子生徒の制服におけるスラックスの着用について

- (1) 質問者 鈴木 篤 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

近年、学校生活における生徒の一人一人の多様性を尊重する取組が進む中で、女子生徒の制服にスラックスを導入又は選択ができる学校が増えてきています。

女子生徒のスラックスの導入については、中学校ごとに個別対応するのではなく、本市が設置している市立中学校全体の課題だと位置づけ、教育委員会の方針として、女子生徒のスラックス導入を英断すべきであると考えています。子どもたちの学校生活を市立中学校全体の取組として支えることが、一人一人を尊重する取組に繋がっていくことは、疑う余地ありません。当局のご見解をお伺いいたします。

(6) 答弁内容

・近年、全国でも、生徒の多様性や個性の尊重、寒さ対策等の観点から、女子生徒の制服において、スカートではなくスラックスを選ぶことができるようになってきており、甲府商業高等学校においても、同様の観点から令和4年度より女子生徒の制服にスラックスを導入したところであります。

・こうした中、本市教育委員会においても、甲府市公立小中学校長会とともに制服検討委員会を立ち上げ、現行のセーラー服に加え、スラックスとそれに合った上着の導入に向けて協議を重ねているところであります。

・女子生徒へのスラックス等の導入は、生徒や保護者に与える影響が少なからずあることから、その意見も聞いた上で、他都市の状況も調査しながら、適切に対応してまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

市立中学校におけるポロシャツの着用について

- (1) 質問者 鈴木 篤 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

暑い夏でも、市立中学校の生徒が学校生活を快適に過ごすために、軽装のポロシャツでの登校を認めることはできないでしょうか。ポロシャツは男子生徒のワイシャツや、女子生徒のセーラー服に比べ洗濯も簡単なので、保護者からの要望も多いと伺っています。既に、一部の中学校では、独自の判断でポロシャツの着用を認めているとお伺いしておりますが、その取組を全中学校に拡大することが必要であると考えています。当局のご見解をお伺いいたします。

(6) 答弁内容

- ・近年、全国の平均気温は、この100年余りで最も高くなるなど、記録的な高温が続いており、そのような猛暑の中であっても、快適な学校生活が過ごせるよう、指定のワイシャツやセーラー服の他にポロシャツを導入する学校が増えております。
- ・本市では、甲府商業高等学校において、暑さ対策として、平成20年度よりポロシャツを導入し、夏期には、ほとんどの生徒が着用しております。
- ・こうした中、市立中学校においても現在2校がポロシャツを導入し、また、一部の学校では、夏の体操着での学校生活を認めております。
- ・今後におきましては、生徒や保護者の意向も確認する中で、生徒が快適に学校生活を送ることができるよう、ポロシャツや夏の体操着を活用した暑さ対策を適切に実施するよう、各学校を指導してまいります。

報告：第9号

6月17日（月）11 堀とめほ 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3 1-4	子どもたちの多様な学びの確保に向けた取組について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	障がいのある子どもたちへの理解促進について	市長	1
2-3 2-4	ヴァンフォーレおしろらんの利用について	子ども未来部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2	高齢者の自転車安全対策について	市民部長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

子どもたちの多様な学びの確保に向けた取組について

- (1) 質問者 堀 とめほ 議員（公明党）
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

不登校保護者向けリーフレットを配付した効果について、ご所見を伺います。

「ほっとルーム」について、令和5年度の利用状況と具体的な効果、また、2校から5校となった本年度の現在までの利用状況をお示してください。

学びの多様化学校について、その必要性と本市への設置についてどのように捉えていらっしゃるのか、ご見解を伺います。

(6) 答弁内容

・不登校児童生徒の保護者向けリーフレットについては、子どもが不登校になってしまった場合に、相談することの重要性や県や市等の相談窓口、本市の不登校にかかわる取組を掲載しており、今年度初めに各家庭に配付し、保護者からは「相談する窓口がわかりやすくてよかった。」、学校現場からは「相談窓口の情報が、保護者と面談等をする際に参考になった。」という声を聞いております。

・「ほっとルーム」におきましては、自分のクラスに入りづらい生徒が落ち着いた空間の中で、安心して学習や活動ができる場の提供を行っており、昨年度は中学校2校に設置し、3月末現在、2校で39名の生徒が利用しておりました。休みがちだった生徒が、ほぼ毎日登校して学習できるようになったり、自分の教室で授業を受けられるようになったりするなど、2校で14名の不登校生徒の状況が改善されたところであり、本年度からは、「ほっとルーム」を3校に増設して5校とし、5月末現在、41名の生徒が利用しております。

・学びの多様化学校においては、学習指導要領にとらわれず、授業時間の削減や体験活動の重視など、学びやすい工夫をすることが可能となっているところですが、本市におきましては、本年度「ほっとルーム」を増設するとともに、市内3箇所にあるあすなろ学級におきましても、学生ボランティアやICTの活用などによる充実に力を注いでおり、その設置につきましては、県教育委員会が市町村と連携しながら検討を進めるとのことであり、その状況を注視してまいりたいと考えております。

・今後におきましても、誰一人取り残されない学びの保障に向け、不登校児童生徒の多様な学びの確保に向けた取組を推進してまいります。

報告：第9号

6月17日（月）12 清水一成 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	自転車用ヘルメットの着用について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	スクールゾーンにおける通学の安全確保のためのドライバーへの注意喚起について	教育部長	1
2-2	通学路におけるグリーンベルトの補修について	教育部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2 3-3	自動車運転免許証の自主返納について	市民部長	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

スクールゾーンにおける通学の安全確保のためのドライバーへの注意喚起について

(1) 質問者 清水 一成 議員（こうふ未来）

(2) 質問日 6月17日

(3) 答弁者 教育部長

(4) 担当課 学事課

(5) 質問概要

通学路の交通安全対策は、第一に、子どもたちへの安全教育と、スクールゾーン規制を徹底することとの同時進行で進めていくことが大事だと強く感じます。

そこで、スクールゾーンについて伺います。本市のスクールゾーンにおける通学の安全確保のためのドライバーへの注意喚起についてお伺いします。

(6) 答弁内容

・本市では、通学の時間帯において、地域の皆様にご協力いただく中で見守り活動を実施するとともに、教員がスクールゾーン周辺に立つなど、ドライバーへの注意喚起や子どもたちの安全の確保に取り組んでいるところであります。

・とりわけスクールゾーンについては、交通安全対策の重点地域でありますことから、警察へ取締り強化を要請するとともに、広報こうふ、市ホームページ等を活用した周知に努めてまいります。

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

通学路におけるグリーンベルトの補修について

- (1) 質問者 清水 一成 議員（こうふ未来）
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

ほとんどのスクールゾーンにみられるグリーンベルトは、通学時の児童・生徒の安全を図ることを目的に設置されており、歩道がない路側帯だけの道路に設置することで車道と歩行空間が明確になり、自動車等の通行車両への注意喚起としては非常に有効と考えますが、塗料が薄くなってしまっている通学路もよく見かけます。ドライバーが認識できない状態の場所もあります。通学路の安全対策としては、すぐに補修が必要だと思います。

通学路のグリーンベルトの点検はどのように行われ、直近5年間でどれくらいの補修が行われているのかお示してください。

(6) 答弁内容

・本市におきましては、甲府市通学路交通安全プログラムに基づき、警察や国、県、市の道路管理者、学校、教育委員会等の関係機関で構成する甲府市通学路安全推進連絡会議を設置し、定期的または随時に合同点検を実施する中で、通学路の危険箇所について必要な対策を講じており、グリーンベルトについては、直近5年間において、対応が必要な74箇所に対し、約8割の60箇所の補修を行ってきたところであり、残りの箇所についても年次的に対応してまいります。

・今後におきましても、関係機関と連携する中で、登下校時における子どもたちの安全・安心の確保に努めてまいります。

報告：第9号

6月17日（月）13 村松裕美 議員 答弁資料目次（令和6年6月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2	新型コロナワクチンについて	保健衛生部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3 2-4 2-5	性的マイノリティへの理解促進を図る取組について	市民部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
3-1	学校給食の地産地消の取組について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
4-1 4-2	歴史文化交流施設のオープニングイベント等について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答弁 順番
5-1	地方自治法改正について	危機管理監	1

報告：第9号

令和6年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食の地産地消の取組について

- (1) 質問者 村松 裕美 議員（無所属）
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

食べたもので身体は作られます。粉食が多くなっている中、子供達の身体、健康の面からも、また、日本の大切な食文化を支え、子供たちに伝えていく地産地消の観点からも、学校給食は、米を中心にした給食に変えませんか。見解を伺います。

(6) 答弁内容

- ・学校給食は、栄養バランスのとれた食事による心身の健全な発達と、「食」に関する正しい理解や「食」を選択する判断力を養うことを目的として実施しております。
- ・こうした中、本市においては、安定的な学校給食の提供ができるよう、市場等を通して食材の調達を行う中で、ナスや豚肉、お米といった地場産物や旬の食材を取り入れております。
- ・米飯給食については、小学校は2日に1回、中学校は週に4回実施しており、また、伝統的な食文化に触れられるよう、全国の郷土食や世界各国の料理、「こうふ開府の日 お楽しみ給食」をはじめとした行事食など、バラエティーに富んだ献立作成を行っているところであります。
- ・今後におきましても、子どもたちが多様なメニューに触れる中で、豊かな味覚や食習慣を育むことができる安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めてまいります。